

第2回市民館跡地利活用構想及び 文化小ホール基本構想・基本計画 に関する有識者検討会議

令和6年5月20日（月） 10:00～11:30

周南市役所 企画部 企画課

1. 市民意見聴取の結果報告

2. 市民館跡地利活用構想の素案について

- 1 背景、前提条件の整理
- 2 整備基本方針について
- 3 ゾーニングイメージについて

3. 文化小ホール基本構想の素案について

- 1 背景、前提条件の整理
- 2 基本理念及び施設の基本的な役割、機能について
- 3 整備方針について



1. 市民意見聴取の結果報告

1-1. 市民ワークショップ結果

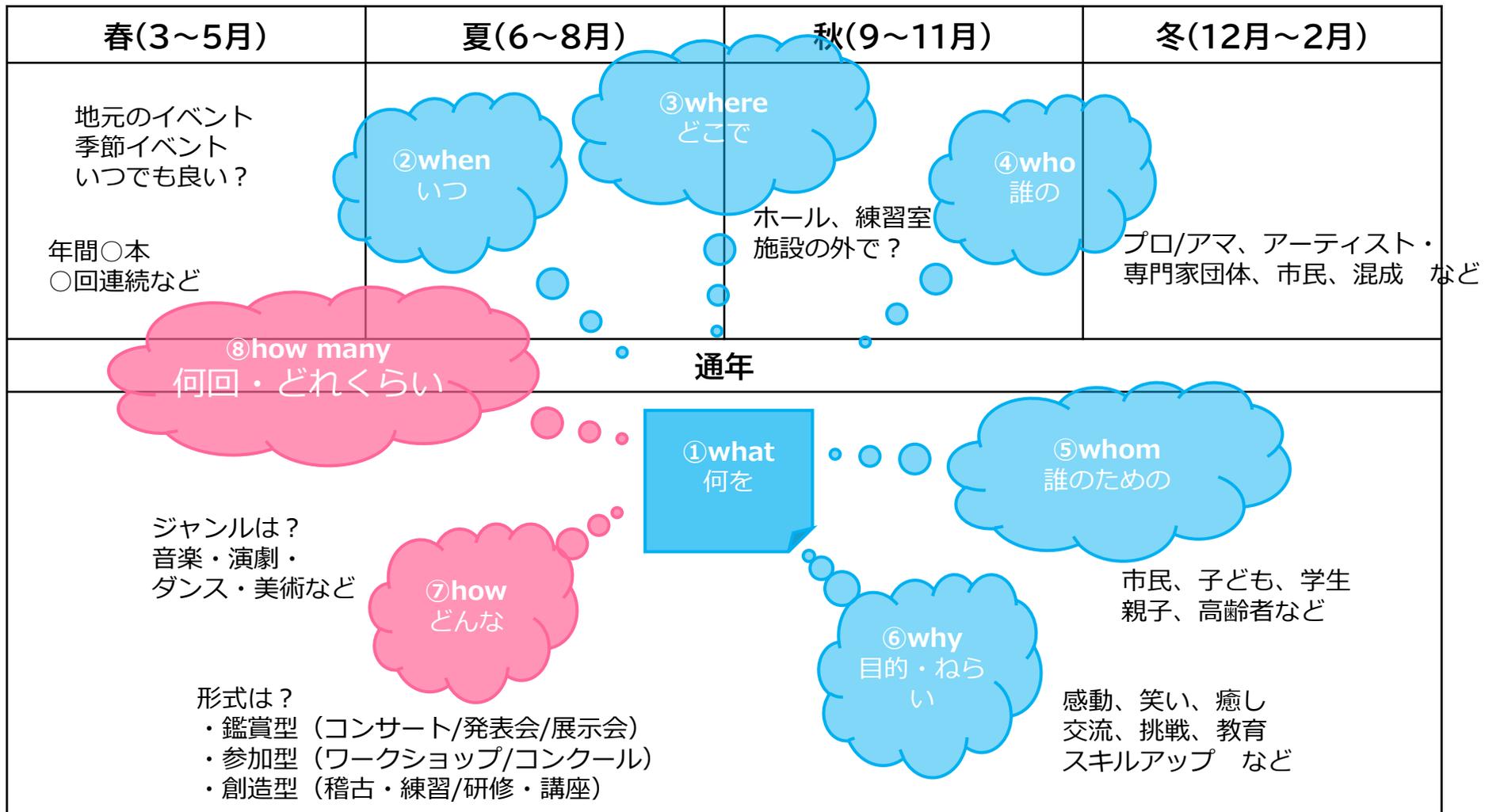
【第2回開催概要】

開催日時	令和6年4月13日（土） 10:00~12:00
開催場所	周南市役所 1階多目的室
参加者数	20名（2名欠席）
テーマ	「イベントカレンダーをつくってみよう！」



1-1. 市民ワークショップ結果

【第2回の流れ】



1-1. 市民ワークショップ結果

【第2回の様子】



1-1. 市民ワークショップ結果

【第2回ワークショップでの意見（抜粋）】

春(3~5月)	夏(6~8月)	秋(9~11月)	冬(12月~2月)
<ul style="list-style-type: none"> ◇花見×お酒 ・お花見 ・利き酒大会 ・“飲み”の市 ◇街が好きになる ・卒業、入学イベント ・市民転入祭 ◇周南らしさ 春 ・城下町の仮装行列 ・市民文化祭春バージョン 	<ul style="list-style-type: none"> ◇夏休み・既存イベント相乗り ・自由研究を行えるイベント ・夏まつり規模拡大 ・学生によるブース出店 ◇地域交流 ・盆踊り・市民ばやし講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ◇誰でも参加しやすい秋まつり ・文化小ホールで文化祭 ・子ども、赤ちゃんのミニ運動会 ・アマチュアバンドライブ ◇食欲・文化・芸術の秋 ・自作映画祭・写真展 ・食の祭典 ◇周南らしさ 秋 ・城下町ウォーキング ・まど・みちお氏、児玉源太郎氏にちなんだイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ◇季節行事・既存イベント相乗り ・餅つき、餅まき、節分など ・周南冬のツリーまつりに便乗 ・周南きさらぎ文化祭と連携文化祭 ◇若者も ・ディスコ・テクノクラブ ◇プロジェクトマッピング ・ナベヅルやクリスマス投影 ◇その他 ・レノファ山口のファン感謝祭
通年			ハード面
<ul style="list-style-type: none"> ◇展示販売会 ・世界各国の食べ物フェア・物産展 ・マルシェ ◇展示 ・周南市のフォトコンテスト ・作品展示で学生の意欲向上 ◇発表・鑑賞・活動 ・大ホールでできないコンサート（チェロ、ピアノ、独唱など） ・市民による歌・バンド発表 ・舞台も観てみたい ・映画上映 ・自信をつける発表の場 ・市民とプロのコラボコンサート ・周南市版劇団四季 ・楽器の練習 ◇学習系 ・各団体からの講師招へい ・著名人による市民大学 ・高校、大学の混合授業 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ビジネス系 ・多世代交流イベント ・企業紹介説明会・異業種交流会 ◇交流・WSの継続 ・これからのまちづくりを考えていくWSが継続 ・みんなでワイワイ・市民が主役 ・年末年始除く355日openでそこにいけばひとに出会える ・イベントがなくても毎日活動している日常風景がある・イベントが日常になる ・地域の方、特に同年代と交流できるイベント ・趣味を共有できるイベント ・各自治体との交流 ◇周南らしさ ・徳山心ぐ、周南たこの大試食会 ・周南市の誇れる偉人に特化したイベント(詩、英語、俳句など) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇植える、育てる ・季節ごとに楽しめる庭、花 ・はちみつづくり ・田んぼ ◇歴史 ・城下町の紹介、歴史めぐり ・歴史文化紹介パネル展示 ◇つながり ・災害支援 ◇こんな施設がいいな ・都会すぎない周南市らしい施設 ・情報発信・生み出す拠点 ・制約をできるだけ少なくする ・無料で場所を借りられる ◇その他 ・定期的な堆肥の回収会 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室、学習スペース ・鏡がある、音出し可の練習室 ・貸倉庫 ・小劇場、ライブハウス ・カフェやレストラン ・店舗の利用で貯まるスタンプを集めてプロの公演チケットが当たる仕組み ・自由にしゃべることができる部屋 ・ランドマークになる施設 ・市の情報収集の場 ・児玉公園とつながる・広場 ・チャレンジショップ・シェアキッチン ・ラボ ・ガラスを使った透明なホールで文化に触れるきっかけに ・文化で感動を共有するきっかけに ・500~700席のホールでコーラスや講演会

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体ヒアリング概要】

アンケート名	新文化小ホールに関する団体ヒアリング
実施時期	令和6年1月30日（火）～令和6年3月14日（木）
対象	文化団体 40団体、活動団体 15団体、学校関係 7団体
質問項目	普段の活動内容 活動で施設を利用する際重視すること 今後挑戦してみたいこと 新施設に望むこと 市の文化振興に望むこと 等

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体ヒアリング結果概要】

今後団体として新しく挑戦したいと思っていること

- ・次世代への継承
- ・施設だけではない人の育成・配置
- ・日常的な交流
- ・活動の場を広げる
- ・発表・鑑賞の場
- ・施設整備の先のまちづくりの視点
- ・枠組みを超えたコラボレーション
- ・配信

新施設に望むこと（施設の機能等に関して）

【ホール】

■全体

- ・音響性能が良いこと
- ・使いやすい動線
- ・大きなイベントは文化会館、
小さなイベントは小ホールと棲み分け

■座席

- ・使いやすい、発表に適した規模
- ・旧市民館の小ホール規模
- ・固定席であること、狭くない親子室
- ・座席数 100～300席 20%
300～500席 55%
500～1,000席 25%

■ステージの広さ

- ・オーケストラや合唱ができるサイズ
- ・市民館大ホールのステージサイズ
- ・文化会館 中割幕より手前のサイズ
- ・座席数に見合った広さ

■機材

- ・特別なものは常設せず、持込対応とする
- ・音響反射板 ・基本的な照明機材

【諸室】

■練習室

- ・小さなスペースで色々な活動に使える
- ・個人、少人数で練習できる防音室
- ・鏡がある部屋
- ・最大50人入る部屋

■リハーサル室

- ・合唱のパート練習ができる広さ
- ・ステージと同じ広さ

■和室

- ・茶道に使える炉をきってある和室

■会議室

- ・市役所側の会議室と連携
- ・10～30名程度で利用できる会議室
- ・30～40人集まれる会議室

■ギャラリー

- ・展示の場

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体ヒアリング結果概要】

新施設に望むこと（施設の機能等に関して）

<p>【共用部等】</p> <p>■ ホワイエ</p> <ul style="list-style-type: none">・打ち上げができるスペース・クローク <p>■ 屋外</p> <ul style="list-style-type: none">・屋外で演奏できる場・キッチンカー、マルシェ開催 <p>■ 飲食</p> <ul style="list-style-type: none">・カフェ・軽食コーナー	<p>【設備・機能】</p> <ul style="list-style-type: none">・Wi-Fi設備 ・配信設備・大きいサイズのエレベーター <p>■ ピアノ</p> <ul style="list-style-type: none">・こだわりのピアノ
<p>【駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none">・十分な台数を確保した駐車場・地域との連携による駐車場の確保・3トントラックが入れる搬入口・貸切バスが駐車可能	<p>【備品】</p> <ul style="list-style-type: none">・所作台・ティンパ二等大型楽器の貸出
<p>【施設全体（ハード面）】</p> <p>■ バリアフリー</p> <ul style="list-style-type: none">・バリアフリーへの配慮 <p>■ 倉庫</p> <ul style="list-style-type: none">・楽器等を置かせてもらえる倉庫 <p>■ 施設</p> <ul style="list-style-type: none">・市役所のような開けた施設・ガラス張りで活動が見える	<p>【施設全体（ソフト面）】</p> <p>■ 料金</p> <ul style="list-style-type: none">・使いやすい料金区分・価格設定・学割、市内利用者割引・キャッシュレス化対応 <p>■ 予約方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ネット予約対応 <p>■ 運営・スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none">・運営者が地元団体と密接に関わる・舞台技術スタッフを配置 <p>■ 開館時間</p> <ul style="list-style-type: none">・柔軟な開館時間設定

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体ヒアリング結果概要】

周南市の文化振興に望むこと（新文化ホールが担う役割、文化ホールでやりたいこと）	
【子ども・若い世代へ受け継ぐ】 <ul style="list-style-type: none">・子どもの利用・子どものための企画・若者が使いやすい・学生が気軽に立ち寄れる・一時預かり対応・部活動の地域移行の拠点	【多世代で日常的なにぎわい・交流】 <ul style="list-style-type: none">・日常的ににぎわいが生まれる施設・イベントがない日にも、用事がなくても行ける、色々な人が集まる施設・様々な交流を支援する施設・家族で集える施設・まちのにぎわい創出
【地域ならではの・まちづくりに寄与】 <ul style="list-style-type: none">・地域資源の活用 ・周辺との連携・市のブランディングにも寄与する施設・地域にも良い影響を与える	【練習から発表まで、市民からプロまで】 <ul style="list-style-type: none">・市民の練習から一流の公演まで・地域の人活動を支える
【積極的に事業を企画・実施】 <ul style="list-style-type: none">・自主事業を積極的に行う施設・人生の楽しみ、生きがいを醸成する・フェスなどによる盛り上げ拠点・使ってもらえるように工夫	【幅広い分野・専門的な施設】 <ul style="list-style-type: none">・市として吹奏楽を取り上げて盛り上げる・文化芸術に限らない幅広い分野の振興・専門性のある施設・幅広いジャンルのイベントを定期的開催
【人材育成】 <ul style="list-style-type: none">・人の養成	【周辺との棲み分け】 <ul style="list-style-type: none">・文化会館との棲み分け
【ハード面の特徴】 <ul style="list-style-type: none">・施設自体にシンボル性がある・カジュアル、モダンな雰囲気	【非日常を楽しめる】 <ul style="list-style-type: none">・非日常感を感じられる施設

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体アンケート概要 ①文化団体】

対象	周南市文化協会加盟団体及び個人会員のうち現在活動を行っている団体及び個人
回答数	85
期間	令和6年1月24日（水）～令和6年3月14日（木）
設問内容	I. 回答者属性 II. 練習・稽古・創作・会議などの活動について III. 発表・公演・展示などの活動について IV. 活動を続けていくうえで望むこと V. 周南市市民館について VI. 新たに整備予定の文化小ホールについて

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体アンケート概要 ①文化団体 結果概要】

I. 団体概要	<ul style="list-style-type: none">他の団体との交流は、「発表・公演・展示などを共同開催する」「メンバー同士の交流や情報交換がある」。
II. 練習・稽古・創作・会議などの活動について	<ul style="list-style-type: none">活動への参加は1回あたり「5人以下」「6人～10人」が多い。活動場所は、「周南市文化会館」が90%を超えている。活動場所に重視することは、「駐車場・駐輪場が十分ある」「立地が良くメンバーが集まりやすい」。
III. 発表・公演・展示などの活動について	<ul style="list-style-type: none">活動場所は、「周南市文化会館」が多い。入場者数は、「～100人」の割合が39.0%、「101人～300人」が18.8%、「301人～500人」が15.6%、「501人～800人」が14.9%、「801人～1,000人」が2.6%、「1,000人以上」が3.2%。活動場所に重視することは、「駐車場・駐輪場が十分ある」「舞台や展示の広さが適している」。
IV. 活動を続けていくうえで望むこと	<ul style="list-style-type: none">今後取り組んでいきたいことは、若い世代の育成や多世代での交流、文化・芸術を身近に感じられるような取組。今後活動していくうえで必要なことは、「自分たちの公演や・展示活動や募集情報などを発信できる場があること」「良き指導者、技術者等と交流する、活動する機会があること」。今後活動していくうえで困っていることは、団体の高齢化、練習場所や発表場所の不足。
V. 周南市市民館について	<ul style="list-style-type: none">65.9%の団体が、利用経験があり、活動内容は、「発表・公演・展示利用」の割合が58.9%。市民会館閉館後に困っていることは、練習場所・小規模な発表場所の不足、交流機会の減少。
VI. 新たに整備予定の文化小ホールについて	<ul style="list-style-type: none">新たな施設の方向性は、「市民の芸術文化活動を発表する場」「日常的な芸術文化活動を行うための場」。規模は、「～100人」が23.5%、「101人～300人」が30.6%、「301人～500人」が17.6%、「501人～800人」が11.8%、「801人～1,000人」が2.4%併設施設は、「小規模な発表会にも対応可能な多目的スペース」「カフェや飲食スペース」「防音がしっかりしたりリハーサル室や練習室」。

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体アンケート概要 ②学校（部活動）】

対象	市内小学校・中学校・高等学校・高専の文科系部活動
回答数	33
期間	令和6年2月20日（火）～令和6年3月14日（木）
設問内容	I. 団体概要 II. 練習・稽古・創作・会議などの活動について III. 発表・公演・展示などの活動について IV. 活動を続けていくうえで望むこと V. 新たに整備予定の文化小ホールについて

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体アンケート概要 ②学校（部活動） 結果概要】

I. 団体概要	<ul style="list-style-type: none">・他の団体との交流は、「発表・公演・展示などを共同開催する」「市・県の合同行事などに参加する」。・練習・創作活動よりも、発表・展示活動時に交流することが多い。
II. 練習・稽古・創作・会議などの活動について	<ul style="list-style-type: none">・活動は「一年中活動している」が9割を超えており、頻度は「概ね毎日活動している」が6割以上。・活動への参加は1回あたり「5人以下」「26人以上」が多い。・活動に主に使用している場所は、「周南市文化会館」が33.3%で最も高い。・活動場所に重視することは、「立地が良くメンバーが集まりやすい」「使用料が手ごろ」。
III. 発表・公演・展示などの活動について	<ul style="list-style-type: none">・活動場所は、市内では「周南市文化会館」が多いが、その他回答では、市外公共施設の利用が多くみられた。・入場者数は、「～100人」が31.6%、「101人～300人」が26.3%、「301人～500人」が21.1%、「501人～800人」が5.3%。・活動場所に重視することは、「使用料が手頃である」「設備・備品が整っている」。
IV. 活動を続けていくうえで望むこと	<ul style="list-style-type: none">・今後取り組んでいきたいことは、他校との交流や、部活動の地域移行を視野に入れた、地域との連携。・今後活動していくうえで必要なことは、「良き指導者、技術者等と交流する、活動する機会があること」「他の団体の活動を知ったり、交流する機会があること」。・今後活動していくうえで困っていることは、指導者不足や楽器の保管場所、学校備品の数やメンテナンス不足。
V. 新たに整備予定の文化小ホールについて	<ul style="list-style-type: none">・新たな施設の方向性は、「子どもたちが文化に触れる場」「芸術文化を鑑賞する場」。・規模は、「～100人」が36.4%、「101人～300人」が24.2%、「301人～500人」が15.2%、「501人～800人」が6.1%、「801人～1,000人」が9.1%・併設施設は、「小規模な発表会にも対応可能な多目的スペース」「防音がしっかりしたリハーサル室や練習室」が多い。

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体アンケート概要 ③幼稚園・保育園・こども園】

対象	市内幼稚園・保育園・こども園
回答数	24
期間	令和6年2月20日（火）～令和6年3月14日（木）
設問内容	I. 団体概要 II. 発表・公演・展示などの活動について III. 活動を続けていくうえで望むこと IV. 新たに整備予定の文化小ホールについて

1-2. 団体ヒアリング・アンケート結果概要

【団体アンケート概要 ③幼稚園・保育園・こども園 結果概要】

I. 団体概要	・他の団体との交流は、「市・県の合同行事などに参加する」「発表・公演・展示などを共同開催する」。
II. 発表・公演・展示などの活動について	・活動場所は、「周南市文化会館」が多い。 ・入場者数は、「～100人」が22.2%、「101人～300人」が40.7%、「301人～500人」が25.9%、「801人～1,000人」が11.1% ・活動場所に重視することは、「駐車場・駐輪場が十分ある」「使用料が手頃である」。
III. 活動を続けていくうえで望むこと	・今後取り組んでいきたいことは、園の行事開催や、地域住民との交流。 ・今後活動していくうえで必要なことは、「周囲を気にせずに、音を発する活動ができること」「自分たちの公演や・展示活動や募集情報などを発信できる場があること」。 ・今後活動していくうえで困っていることは、市内公共施設の予約しにくさや持ち込み備品の負担が大きいこと、会議等日常利用の場所。
IV. 新たに整備予定の文化小ホールについて	・新たな施設の方向性は、「子どもたちが文化に触れる場」「気軽に誰もが集える、コミュニティづくりの場」。 ・規模は、「～100人」が25.0%、「101人～300人」が54.2%、「301人～500人」が8.3%、「501人～800人」が4.2%、「801人～1,000人」が4.2%。 ・併設施設は、「子どもたちが遊べる屋内スペース」「小規模な発表会にも対応可能な多目的スペース」。

1-3. 市民アンケート結果概要

【アンケート概要】

アンケート名	文化・芸術の意識に関するアンケート
実施時期	令和6年2月1日（木）～令和6年2月16日（金）
対象	市内在住の15歳以上の方より無作為抽出で選ばれた3,000人
回答数	WEB回答427件、紙面回答817件 計1,244件
回答率	41.5%
質問項目	文化・芸術鑑賞経験の有無 文化・芸術活動経験の有無 日ごろ鑑賞、活動、利用する施設 周南市市民館の利用経験の有無 周南市市民館の良い点 周南市市民館を利用した際に困った点 新たな施設に期待すること 等

1-3. 市民アンケート結果概要

【アンケート結果概要】

文化・芸術への意識

- ・文化芸術活動が活発なまちが魅力的だと思うか、という設問に対し、8割以上が魅力的だと思うと回答。
- ・文化芸術がもたらす効果として期待されているのは、「子どもの豊かな成長」「まちの賑わいや経済効果」。
- ・文化・芸術を鑑賞する機会が少ないという意見が多い。
- ・主な鑑賞ジャンルは「展示会」「軽音楽」「オーケストラ」が多く、「伝統芸能」「舞踊」は少ない。
- ・施設に求めるものは、「観たい演目や参加したい事業がある」ことが多い。
- ・公演等を鑑賞しない理由は、「魅力ある催しがない」「催しの情報が少ない、わかりにくい」が多い。

文化・芸術活動

- ・文化・芸術活動を行っている人は1割程度と少ない。
- ・文化・芸術活動を行う理由は、「同じ趣味を持つ友人ができる」「豊かな感性を身につけることができる」「技術や知識を身につけることができる」「充実した余暇を過ごせるようになる」が多い。
- ・施設を利用する理由、施設に求めるものは、「駐車場・駐輪場が十分ある」ことが多数を占める。

市民館の利用

- ・利用したことがない人の割合が6割を超えている。
- ・利用目的は、「音楽やコンサート等の鑑賞」「大会、式典、講演会の鑑賞」「文化祭や発表会等の鑑賞」と、鑑賞がメイン。
- ・市民館の良かったところは、「施設の広さが活動に適している」点。
- ・市民館にあると良かったものは、「十分な駐車場・駐輪場」「施設内でくつろげる場所」。

文化小ホール

- ・「プロからアマチュアまで、幅広い文化・芸術を鑑賞する場」が望まれている。
- ・鑑賞してみたい新たなコンテンツは、「軽音楽」「演芸」「映像」「演劇」が多い。
- ・併設する施設は、「カフェや飲食スペース」「防音がしっかりしたリハーサル室や練習室」「小規模な発表会にも対応可能な多目的スペース」「様々な世代が交流できるラウンジ」。
- ・新しい文化小ホールのあり方として、「市民が集い、交流できる場」「子ども、若い世代の活動の場」「市民の自己表現の場」が望まれている。

1-3. 市民アンケート結果概要

【アンケート結果概要】

新しい文化小ホールのあり方への意見概要

- 新しい文化小ホールのあり方として最も多かった回答は「**市民が集い、交流できる**」、「**気軽な市民利用ができること**」。
- **人との出会いや交流が盛んになることで、市民活動も活発化し、ゆくゆくは周南市の活性化にまで波及効果が得られるのではないか**、といった回答もあった。そのためにはまず**市民が気軽に様々な目的で使用できることが重要である**、という回答も多い。
- プロの公演鑑賞へのニーズはありつつも、**市民の自己表現の場**であってほしいという意見もある。
- 新たな施設だからことできる事業に力を入れ、周南市文化会館をはじめとする**既存文化施設との差別化**を図るべき、といった回答も多い。
- 文化芸術への関心を高める取組についても多く回答があり、**文化芸術の門戸が広く開かれた状態**を目指してほしい、という意見が出ている。

1-4. 市民意見聴取のまとめ

【現状の課題およびニーズ】

施設・設備（ハード）

【全体】

- ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応

【ホール】

- ・音響性能の確保、音響反射板の設置
- ・座席数 ※

【団体ヒアリング】

100～300席 20%、300～500席 55%、500～1,000席 25%

【文化団体アンケート】

「～100人」が23.5%、「101人～300人」が30.6%、「301人～500人」が17.6%、「501人～800人」が11.8%、「801人～1,000人」が2.4%

【学校（部活動）アンケート】

「～100人」が36.4%、「101人～300人」が24.2%、「301人～500人」が15.2%、「501人～800人」が6.1%、「801人～1,000人」が9.1%

【幼稚園・保育園・こども園アンケート】

「～100人」が25.0%、「101人～300人」が54.2%、「301人～500人」が8.3%、「501人～800人」が4.2%、「801人～1,000人」が4.2%

- ・小規模な発表場所・鑑賞場所 ・ステージの広さを十分に確保

【諸室】

- ・リハーサル室（ステージと同じ大きさ） ・多目的スペース、会議スペース
- ・練習室（防音遮音性能があり、大小様々な広さの諸室が複数）

【駐車場】

- ・十分な数を確保

【併設施設】

- ・カフェ・飲食機能 ・子どもたちが遊べる屋内スペース ・交流できるラウンジ・共用部

※基本計画段階において詳細検討予定

1-4. 市民意見聴取のまとめ

【現状の課題およびニーズ】

運営（ソフト）

【日常的に憩える】

- ・多世代で日常的なにぎわい・交流を生む
- ・コミュニティの創造を通じて、地域の発展を支える機能

【非日常を楽しめる】

- ・非日常を楽しめる
- ・練習から発表まで、市民からプロまで

【人材育成】

- ・人材育成

【文化・芸術の鑑賞の場】

- ・市内で文化・芸術を鑑賞できる場
- ・積極的に事業を企画・実施
- ・幅広い分野での質の高い舞台芸術・展覧会等の鑑賞機会の提供

【市民の発表の場】

- ・市民の芸術文化活動を発表する場
- ・日常的な芸術文化活動を行うための場
- ・市民の自己表現の場

【文化・芸術だけでなく多分野での連携】

- ・文化芸術と他分野の連携
- ・幅広い分野・専門的な施設
- ・郷土の特色ある歴史・文化の継承
- ・文化芸術だけでなく、観光やまちづくり等、その他の分野も取り込む

【まちづくりへの効果】

- ・まちの賑わいや経済効果
- ・地域ならではの・まちづくりに寄与

【周南ならではの事業】

- ・周南市ならではの事業の実施
- ・まちのもつ歴史・文化を活用

【市民参加】

- ・市民主体の文化・芸術の活性化

【子どもへ文化を継承する】

- ・子ども・若い世代へ受け継ぐ
- ・子どもの豊かな成長へ寄与
- ・子どもたちが文化に触れる場
- ・子ども、若い世代の活動の場

2. 市民館跡地利活用構想の素案について

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

構想策定の背景

- 周南市市民館は、昭和31年の開設以降多くの市民の利用があったものの、新庁舎建設を機に平成27年12月末をもって閉館、解体されました。
- 平成26年2月に策定された「周南市庁舎建設基本計画」においては、市民館跡地の今後について、公共的な用途を前提とすることが記されています。
- 市内に点在する国の機関の集約化について、閉館当時から国と調整してきましたが、このことが加速化してきたことも背景にあります。
- 保健センターは、老朽化しており、国のこどもまんなか社会の実現に向けた子育て支援及び健康増進の機能拡充が求められています。
- 本構想では、市民館跡地の将来的な利用について、これまでの検討経過をもとに、本市の都心軸および行政ゾーンにふさわしいものとなるよう、利活用についての基本的な考え方を整理します。

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■ 前提条件の整理

1. 計画地について

1) 市民館跡地の現状

- 市役所臨時駐車場、徳山保健センター、保健センター駐車場として利用されています。
- 市内行政ゾーンに位置しており、国・市等の行政機関が集約しています。
- 駅前からの中心通り沿いに位置しており、交通量が多いエリアです。

面積	約7,156㎡
建蔽率／容積率	80％／400％
接道状況	北西側：市道徳山停車場線（岐山通り） 幅員36m 南東側：市道児玉町線 幅員12m

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■ 前提条件の整理

1. 計画地について

2) 主な上位・関連計画の整理（抜粋）

① 国公有財産の最適利用（エリアマネジメント）

国と地方公共団体が連携しながら、公的施設の効率的な再編・最適化を図ることが推奨されています。

② 周南市都市計画マスタープラン

徳山駅周辺の都心軸において、中心市街地にふさわしい風格と賑わいのある拠点形成を図ります。

③ 周南市立地適正化計画

人口減少・少子高齢化社会に対応するため、都市機能の誘導と、それと連携した地域公共交通ネットワークの再編を行うことにより、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を図ります。

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■ 前提条件の整理

2. 市内施設の現状・課題

1) 市内に点在する国の機関

市内には、主に以下のような老朽化した国の機関が点在しています。

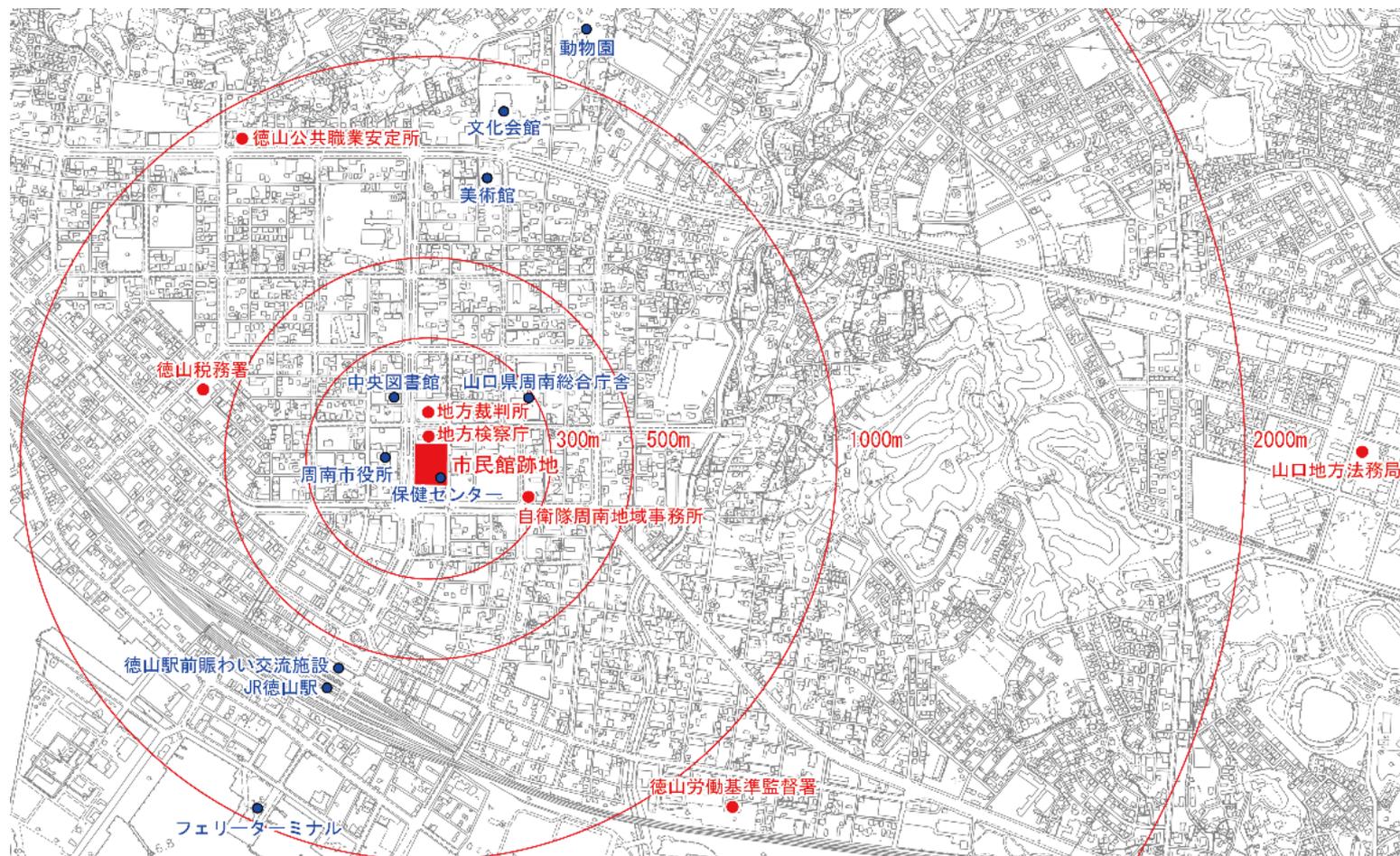
施設名称	建築年	延床面積
徳山税務署	昭和47年	1,940m ²
徳山公共職業安定所	昭和50年	844m ²
山口地方法務局周南支局	平成12年	1,733m ²
徳山労働基準監督署	昭和41年	336m ²
自衛隊周南地域事務所	昭和53年	42m ²

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■ 前提条件の整理

2. 市内施設の現状・課題

1) 市内に点在する国の機関



2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■前提条件の整理

2. 市内施設の現状・課題

2) 市民館跡地に関連する施設および関連部局の現状

①文化小ホール設置の検討

- 平成26年に、市民館解体により失われるホールを備えた施設の確保に関する陳情が14,420名の署名を添えて市議会に提出されました。
- 現在でもホール建設を望む声が多く寄せられています。

②保健センター機能の継続

- 保健センターは老朽化しており、見直しが必要です。
- 新たな施設整備にあたり、市民館跡地と徳山保健センターのエリアを一体的に整備することを考えており、徳山保健センターは解体予定であるため、その機能をさらに強化する必要があります。

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■前提条件の整理

2. 市内施設の現状・課題

2) 市民館跡地に関連する施設および関連部局の現状

③子育て支援機能の拡充

- 市ではこどもが活躍できるまちづくりに取り組んでいます。
- こどもの居場所づくりや、子育てしやすい環境づくりへの取組を推進する上で、現状施設では十分なスペースが確保できない状況です。

④会議室等の不足スペース補完

- 本庁舎内における慢性的な会議室の不足や、臨時的な事務スペースや作業スペースの不足等が課題であり、それらのスペースを補完することが求められています。

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■ 整備基本方針

1. 施設整備により期待できる効果

① 行政機能の集約化による利便性向上

- 点在する国の機関を、市の行政拠点の一角である市民館跡地へ集約化し、隣接する市役所や県総合庁舎等との連携を図り、市民の利便性・サービス向上へとつなげ、都市機能のさらなる強化を図ります。

② 文化小ホールによるまちづくり効果

- 「周南らしさ」へつながる地域固有の文化を育む、市民の日常的な活動拠点となるような、文化小ホールを市民館跡地に整備することを検討します。

③ 一体整備による土地の有効活用

- 保健センター部分を含む市民館跡地全体で、国の機関の集約および文化小ホールの整備を検討します。

④ 施設機能の複合化による新たな価値観・にぎわいの創出

- 複合化によることで、世代を問わず、様々な人を集め、都市力を向上し、市民益になるよう検討します。

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■ 整備基本方針

2. 各施設の基本方針

1) 国の機関の集約化

- 国の庁舎については、国において最適利用プランを策定します。
- 近接する国や県の庁舎および市役所との連携による市民の利便性向上・行政機能を強化します。
- 児玉公園などの周辺環境にも考慮し、本市の都心軸にふさわしい施設となるよう、国との調整を図っていきます。

2) 文化小ホールの整備

- 具体的な施設規模や機能については文化小ホール基本構想・基本計画において、最新の潮流や上位計画との整合、市内施設とのすみ分けや市民意見・ニーズを明らかにしながら検討します。
- 市民が使いやすくにぎわいの創出につながるような施設のあり方を検討します。

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■ 整備基本方針

2. 各施設の基本方針

3) 徳山保健センター等の機能拡充

- 保健センターは、老朽化や子育て支援機能の拡充に対応するため解体します。
- 既存の保健センター機能に加え、子育て支援機能の拡充のための施設整備を行います。また、子ども・子育て世代、みんなの居場所となるような施設のあり方を検討します。
- 本庁舎内で不足する会議室や交流スペースを、新たな施設の中に設置し、機能補完することを検討します。

4) 駐車場の整備

- 公共交通機関からのアクセス性や、計画地周辺の交通状況、新たな施設の規模や想定される利用状況等を総合的に勘案し、適切な台数を確保します。
- 必要な駐車台数を確保するため、立体駐車場の整備を検討します。

2-1. 市民館跡地利活用構想素案について

■ 整備基本方針

3. 施設の複合化について

徳山保健センター機能等の整備先については、国機関の集約化施設に合築する案と文化小ホールへ複合化する案の二つで検討しました。

区分	比較検討項目	対象施設	
		国施設	文化小ホール
土地利用	市の利用土地割合の広さ、土地利用の自由度	△	○
建設	建設費	○	△
	施設設計・整備の自由度	△	○
管理	機械設備等の共同利用による維持管理費	○	△
	管理運営方法	△	○
	将来的なメンテナンス	△	○
市民の 利便性	土日祝日や夜間利用における対応	△	○
	会議室などの共同利用	△	○
	セキュリティや動線の確保	△	○
	来館のしやすさや外観デザイン、親和性	△	○
防災	指定避難所機能	△	○
効果	子育て支援事業との連携	△	○
	賑わいの創出	△	○

検討結果として、**文化小ホール複合施設として整備**を検討する方針とします。

2-2. ゾーニングイメージについて

ゾーニングにおける留意点（例）

① 歩行者動線・車両動線の整理

- 駅からのアプローチ動線の検討
- 交通渋滞が発生しないような駐車場出入口の配置
- 歩行者動線と交錯しない車両動線の検討

② 近隣施設との関係

- 利便性に考慮した配置
- 児玉公園との連携に考慮
- 市役所との景観調和に配慮

③ にぎわい創出・都心軸形成への寄与

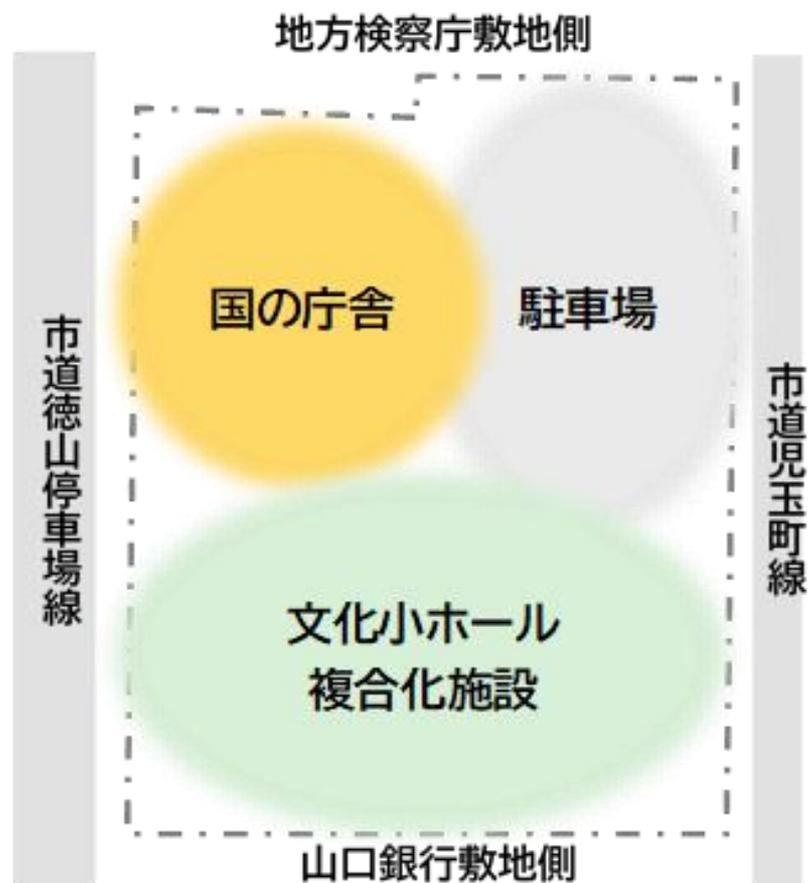
- 施設からにぎわいが創出するような配置の検討
- 都心軸形成へ寄与する施設配置のあり方

④ 使いやすい複合施設のあり方

- 動線分離やセキュリティの確保、共用部のあり方

2-2. ゾーニングイメージについて

ゾーニングイメージ（案）



3. 文化小ホール基本構想の素案について

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

基本構想策定の背景

- ・本市は現在の人口減少を歴史的な危機と捉え、持続可能な地域経営に向けて、「2050年を乗り越えられる周南市になる」というパーパスを掲げ、全ての施策において実効性を高めるために部局間の連携を強化しています。
- ・この課題を解決するためには、人口減少に「抗う」という意識を統一し、従来の考え方や手法を進化させ、都市力と市民益の向上を図る必要があります。
- ・現在、都心軸にある跡地では、国の施設の集約化が加速しており、有効活用が求められています。
- ・また、本市は国の少子化対策に呼応し、「周南市こどもまんなか宣言」を発表し、子育て支援機能の拡充を図る必要があります。
- ・健康増進機能の拡充を図るために、保健センター施設の見直しが必要です。
- ・これらの背景を踏まえ、こどもが持つ力、文化が養う力、交流が生む力を引き出すための拠点施設を計画します。

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

1. ホールを取り巻く状況

(1) 国の文化政策の状況

国の文化政策においては、文化芸術の多様な価値を活用・好循環させ、文化芸術立国を実現することを目指しています。

平成24年	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律
平成27年	文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次）
平成29年	文化芸術基本法
平成30年	障害者による文化芸術活動の推進に関する法律
令和5年	文化芸術推進基本計画（第2期）

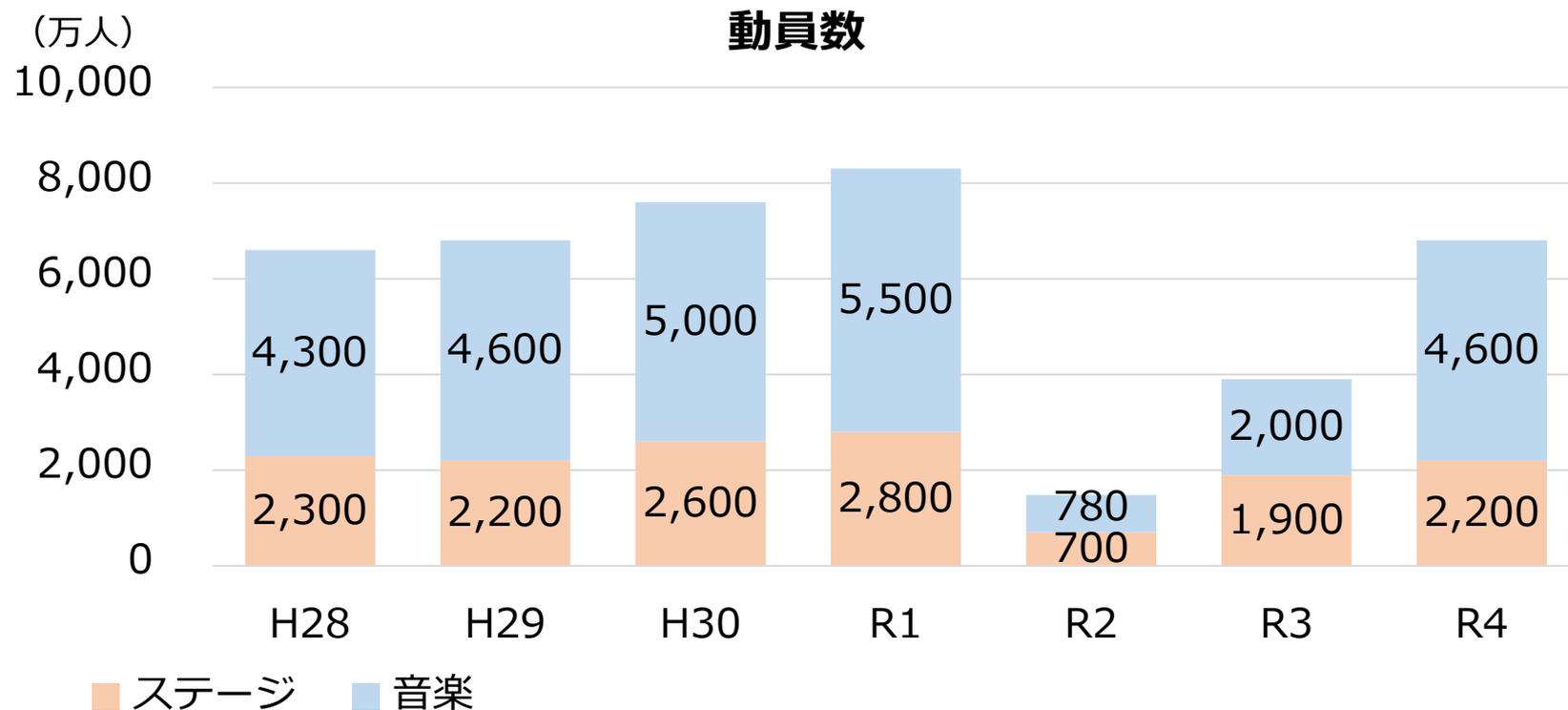
3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

1. ホールを取り巻く状況

(2) 文化芸術に関する社会的潮流

動員数は、コロナ禍を経て減少したものの、令和4年になって、平成28、29年頃の水準まで持ち直しています。



3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

1. ホールを取り巻く状況

(3) やまぐち文化芸術振興プラン（第3次）

「文化観光」の取組等の新たな動きを県の文化芸術の更なる振興や発展につなげていくことを目指しています。

基本理念	心豊かで活力ある地域を育む やまぐちの文化力の創造
目指す姿	○文化資源が観光振興に活用され、人々の交流が拡大、地域が活性化 ○次代の文化芸術を担う人材育成の機会や活躍の場が充実 ○文化芸術活動の発表の場や鑑賞機会の充実が図られ、県民誰もが文化芸術に親しめる環境が整備されている

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

1. ホールを取り巻く状況

(4) 第2次周南市まちづくり総合計画

【後期分野別計画】

基本施策に文化・芸術の振興を掲げ、市民主体の文化・芸術活動の活性化や郷土の特色ある歴史・文化の伝承を図り、多様な文化を認め合う、豊かで彩りのある市民文化の育成に取り組むこととしています。

※ 現在第3次周南市まちづくり総合計画を策定中です。

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

2. 市内ホール施設の現状分析

(1) 市内および周辺市町の文化交流施設

1) 市内施設

施設名称	席数	ホール利用状況	現状の課題
周南市文化会館	1,647席	<ul style="list-style-type: none">・大ホールの稼働率は43%・音楽利用が約4割	<ul style="list-style-type: none">・駐車場不足・バリアフリーでない・練習室が防音でない
徳山保健センター	200席	<ul style="list-style-type: none">・健診ホールの稼働率は約20～30%・75%が50席以下の利用・市利用が多い	<ul style="list-style-type: none">・健診日のみ駐車場不足・洋式トイレ不足
学び・交流プラザ	316席	<ul style="list-style-type: none">・多目的ホールの稼働率は約90%・約9割が100席以下の利用・会議や軽運動利用が多い	<ul style="list-style-type: none">・年4回ほど駐車場不足・楽屋不足・舞台奥行、舞台袖が狭い
新南陽 ふれあいセンター	1,080席	<ul style="list-style-type: none">・ホールの稼働率は約80～90%・ほとんどが200席以下の利用・軽運動利用が多い	<ul style="list-style-type: none">・駐車場不足・備品が古い・子ども向けイベント数減少
熊毛勤労者 総合福祉センター (サンウイング熊毛)	418席	<ul style="list-style-type: none">・多目的ホールの稼働率は約60～70%・ほとんどが100席以下の利用・軽運動利用が多い	<ul style="list-style-type: none">・土日祝日催事開催時駐車場が不足・舞台サイズに対し客席数が少ない

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

2. 市内ホール施設の現状分析

(1) 市内および周辺市町の文化交流施設

2) 周辺市町における文化施設の設置状況

① 1,000席以上

施設名称	席数
KDDI 維新ホール	1,972席 (一部可動席)
維新百年記念 公園野外音楽堂(ビッグシェル)	1,662席 ※屋外
山口市民会館	1,500席
防府市公会堂三友サルビアホール	1,388席
山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国	1,205席
サンビームやない	1,108席
岩国市民文化会館	1,034席
下松市文化会館 スターピアくだまつ	1,007席

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

2. 市内ホール施設の現状分析

(1) 市内および周辺市町の文化交流施設

2) 周辺市町における文化施設の設置状況

② 500～1,000席

施設名称	席数
光市民ホール	891席
防府市地域交流センター アスピラート	602席
山口県教育会館	517席
山口市徳地文化ホール	505席
山口市小郡ふれあいセンター	504席 (可動席)
山口南総合センター なんそう	500席
岩国市周東文化会館 パストラルホール	500席

③ 500席未満

施設名称	席数
山口情報芸術センター(YCAM)	450席 (可動席)
岩国市美和文化会館 ハーモニーみわ	408席 (可動席)
周南総合庁舎 さくらホール	400席 (可動席)
アクティブやない	366席 (可動席)
山口市大海総合センター らんらんドーム	364席
クリエイティブ・スペース 赤れんが	100席 (可動席)

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

3. 市民参画の実施

市民参画内容	実施時期	実施方法	参加者
団体 ヒアリング	令和6年 1～3月	・周南市文化会館において対面グループヒアリング ・個別ヒアリング	周南文化協会40団体 市内活動団体15団体 学校部活動7団体
団体 アンケート	令和6年 2～3月	・周南文化協会 ・市内小学校・中学校・高等学校・高専の 文化芸術関係部活動団体 ・市内幼稚園・保育園・こども園 上記団体へ回答票配布	周南文化協会85団体 学校部活動33団体 幼稚園・保育園・こども園24園
市内施設 運営者 ヒアリング	令和5年12月～ 令和6年2月	各施設での対面ヒアリング	周南市文化会館 徳山保健センター 学び・交流プラザ 新南陽ふれあいセンター 熊毛勤労者総合福祉センター (計5施設)
市民 ワークショップ	令和6年 第1回:3月2日 第2回:4月13日	・第1回テーマ:「周南市のまちじまん・文化じまんから 施設の将来像を考えてみよう!」 ・第2回テーマ:「イベントカレンダーをつくってみよう!」 ・今後3回実施予定	第1回:17名/22名 第2回:20名/22名
市民 アンケート	令和6年 2月1～16日	市内在住の15歳以上の方より無作為抽出で選ばれた 3,000人へ回答票配布	WEB回答427件 紙面回答817件 計1,244件
有識者検討会議	令和6年 3月25日	学識、学校、文化、子育て支援等の有識者により構成	11名

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

4. 文化小ホールを取り巻く状況の整理

(1) 市民参画実施による主な意見

施設・設備（ハード）

【全体】

- ・バリアフリー
- ・ユニバーサルデザイン

【ホール】

- ・小規模な発表場所 ・音響が良い ・音響反射板設置
- ・座席数

【団体ヒアリング】

100～300席 20%、300～500席 55%、500～1,000席 25%

【文化団体アンケート】

「～100人」が23.5%、「101人～300人」が30.6%、「301人～500人」が17.6%、
「501人～800人」が11.8%、「801人～1,000人」が2.4%

【学校（部活動）アンケート】

「～100人」が36.4%、「101人～300人」が24.2%、「301人～500人」が15.2%、
「501人～800人」が6.1%、「801人～1,000人」が9.1%

【幼稚園・保育園・こども園アンケート】

「～100人」が25.0%、「101人～300人」が54.2%、「301人～500人」が8.3%、
「501人～800人」が4.2%、「801人～1,000人」が4.2%

- ・ステージの広さは十分にとる

【諸室】

- ・リハーサル室（ステージと同じ大きさ） ・練習室（防音、大小様々な広さ） ・多目的スペース

【駐車場】

- ・十分な数を確保

【併設施設】

- ・カフェ・飲食 ・子どもたちが遊べる屋内スペース ・交流できるラウンジ・広場 ・自習スペース

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

4. 文化小ホールを取り巻く状況の整理

(1) 市民参画実施による主な意見

運営 (ソフト)
<p>【料金】 ・ 利用しやすい料金設定</p> <p>【日常的に憩える】 ・ 多世代で日常的なにぎわい・交流を生む</p> <p>【非日常を楽しめる】 ・ 練習から発表まで、市民からプロまで</p> <p>【人材】 ・ 人材育成</p> <p>【文化芸術の鑑賞の場】 ・ 幅広い分野での質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供</p> <p>【周南市ならではの事業】 ・ 周南市ならではの事業の実施</p> <p>【文化芸術だけでなく多分野での連携】 ・ 郷土の特色ある歴史・文化の継承 ・ 文化芸術だけでなく、その他分野も取り込む</p> <p>【市民の発表の場】 ・ 市民の芸術文化活動を発表する場 ・ 日常的な芸術文化活動を行うための場</p> <p>【まちづくりへの効果】 ・ まちの賑わいや経済効果</p> <p>【市民参加】 ・ 市民主体の文化芸術の活性化</p> <p>【子どもへ文化を継承する】 ・ 子ども、若い世代へ受け継ぐ ・ 子どもの豊かな成長へ寄与 ・ 子ども、若い世代の活動の場</p>

3-1. 文化小ホール基本構想の素案について

■ 前提条件の整理

4. 文化小ホールを取り巻く状況の整理

(2) 文化小ホールの求められる方向性

施設・設備 (ハード)	運営 (ソフト)
<ul style="list-style-type: none">・ バリアフリーな施設・ ユニバーサルデザインで誰でも利用しやすい・ 小規模な発表場所としてのホール・ 市民の練習活動に適した諸室・ 日常的に交流できる共用部・ 子どもたちが遊べるスペース・ カフェ、飲食ができるスペース・ 駐車場は十分な数を確保・ 複合施設としての機能連携・ 保健センター機能の継続*・ 子育て支援機能強化*	<ul style="list-style-type: none">・ 日常的に憩える・ 人材育成・ 市民の発表の場・ 市民参加・ 子どもから大人まで多世代での交流・ 周南市ならではの事業・ 文化、芸術だけでなく多分野での連携・ 非日常を楽しめる・ 文化芸術の鑑賞の場・ まちづくりへの効果・ 子どもへ文化を継承する

*市民館跡地利活用構想より

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

こどもと文化と交流の力で 人口減少社会を豊かに歩む

本市の人口減少対策は、地域経済力の進化、こどもまんなか社会への環境の進化、文化や知の力を生かす力の進化、この3つの進化を最重要項目としています。

この施設はこれらを具現化し、本市の新たな都市力を獲得するためのものです。

こどもまんなか社会へ向けた環境整備では、相談や交流、居場所づくりや検診・予防などを行う良好な施設空間の確保と、実施ソフトの開発が必要となります。また、親や家庭などのこどもを取り巻く背景への配慮をすること、子育てやこどもの活動に寛容で理解ある地域や職場の風土を醸成していくことも重要です。こうした時代が要請する事柄に実直に応えられる施設をめざします。

時代への対応の一例として、この施設は母親がIT技術などの新たなスキルを身につけ資質を向上させる学習の場と、地元企業との接点を生む場を提供し、高度な能力を有する人材の育成と地元雇用の促進という両面から、こどもまんなか社会を支えるものとしします。

さらに、文化や芸術、知的創造活動、健康づくりなどは、人口減少対策として魅力ある都市力の形成に有望な力となります。これらの活動を支え発展させる場として、この施設の意義は多大なものがあります。文化は発掘・保存し継承する重要性とともに、新たな文化が刻々と形成される中で、文化と知の力がある所にますます人が集まるという特性を認識し、人口減少対策において有効に生かし切っていく必要があります。

既に到来し加速する人口減少社会において、こどもが持つ力、文化が養う力、交流が生む力をもって豊かに歩み続けるまちの拠点として、また拠りどころとして、この施設を計画します。

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

(2) 施設の基本的な役割及び機能(案)

施設の基本的な役割	施設機能
① コミュニティの創造、発展を支える	交流・にぎわい創出機能
② 市民の力で地域の個性を生み出し、育み、発信する	魅力発信拠点機能
③ 非日常的な体験を創出し、市民の興味・関心を広げる	創造拠点機能
④ 文化人材を育成し、施設の持続性を確保する	人材育成機能
⑤ 子どもたちの創造力を育み、 次世代へ本市の文化を継承する	子ども居場所機能
⑥ 子育て家庭をまちぐるみで支え、 こども若者にまちへの愛着を形成する	子育て支援機能
⑦ 健康づくりを推進し、市民の健康寿命の延伸を図る	健康増進機能
⑧ 災害に強い施設づくりを目指す	防災機能

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

(2) 施設の基本的な役割及び機能(案)

①コミュニティの創造、地域の発展を支える

- ・ 市民一人ひとりが日常を豊かに過ごすための取組を展開し、コミュニティの創造と発展に寄与することを目指します。
- ・ 世代を問わず誰もが気軽に施設を訪れ、日常的に憩える空間を提供し、交流を通して、新たな出会いや緩やかなつながりを生み出します。

機能及び施設イメージ	交流・にぎわい創出機能 <ul style="list-style-type: none">・ 緩やかにつながることのできる共用スペース・ いつでもどこでも誰でも好きなことができる「日常」の延長にある空間づくり・ 子どもからお年寄りまで、多世代が集い、活動できるフリースペースなど
取組事例	<ul style="list-style-type: none">・ 多世代が自由に「日常」を過ごせる場、緩やかにつながる場の提供・ 地域の人たちの交流を図る施策・ 共用部で誰もが自由に参加できる事業の企画・実施 など

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

(2) 施設の基本的な役割及び機能(案)

②市民の力で地域の個性を生み出し、育み、発信する

- 新たな施設の主役は市民です。市民が主体となって独自の文化芸術を生み出せるような環境を整備し、ここで生まれた新たな活動を育み、施設の外へと発信していく場となることを目指します。
- 文化芸術だけでなく、生涯学習、子育て、歴史、観光、まちづくりなど、あらゆる本市の文化が集積する場を形成し、地域固有の様々な文化資源を活かした活動を通して市民自ら「周南市らしさ」を探し、新たに創り出し、育み、発信していきます。

機能及び施設イメージ	魅力発信拠点機能 <ul style="list-style-type: none">• 幅広い世代の人々が、日常的な活動ができる諸室• 他施設機能との機能連携・分担が可能な動線・配置• まちの魅力を発信・PRするコーナー など
取組事例	<ul style="list-style-type: none">• 市民自ら表現・活動する場の提供• 国や市の各部局との連携した取組• 文化芸術×歴史、文化芸術×子育てなど多分野の掛け合わせによる多様な事業企画・実施• 本市ならではの事業を企画・実施 など

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

(2) 施設の基本的な役割及び機能(案)

③非日常的な体験を創出し、市民の興味・関心を広げる

- ここでしか体験できない特別な時間を過ごせる場を提供し、市民の興味・関心を高め、まちの文化力向上を目指します。
- 本格的な公演や、非日常的な体験を目の前で享受する機会、新たな発見や興味を喚起できる事業を提供し、深い感動や楽しさを通じ、市民の興味・関心の拡大を図ります。

機能及び施設イメージ	創造拠点機能 <ul style="list-style-type: none">・市民の発表の場から、プロによる興行公演まで、幅広い演目に対応可能な本格的なホール・練習等、日常的な文化芸術活動ができる諸室 など
取組事例	<ul style="list-style-type: none">・多様な嗜好に応じた事業の企画・実施・新たな発見、関心の喚起につながる事業の企画・実施・鑑賞だけでなく、体験、参加できる事業の企画・実施 など

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

(2) 施設の基本的な役割及び機能(案)

④文化人材を育成し、施設の持続性を確保する

- 文化芸術に関する専門的なノウハウや知識を有する人材の育成や、学生や若手アーティストの活動を支援する場、将来の文化芸術の担い手を育てる場となることを目指します。また、市民が運営にも参加できるように、運営をサポートする人材や団体を育成する場を目指します。
- 周南市から世界へはばたくような人材を育てながら、さらに市民が運営に携わることによって施設も育てられ、「愛される施設」としての持続性を確保します。

機能及び施設イメージ	人材育成機能 <ul style="list-style-type: none">・市民活動のスペース・専門家による相談窓口 など
取組事例	<ul style="list-style-type: none">・専門人材の採用、育成・運営サポートに必要な知識を学べる市民講座の実施・学生・若手アーティスト向け事業の企画・実施・学生による企画・実施事業の支援 など

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

(2) 施設の基本的な役割及び機能(案)

⑤子どもたちの創造力を育み、次世代へ本市の文化を継承する

- 子どもたちの日々の文化活動の拠点と、発表の場を確保し、文化活動を通じた子どもたちの自己表現力・自己効力感を育成すると同時に、自己実現力を育み、子どもたちの成長と自立を促します。
- 文化活動に集う子どもや若者世代だけでなく、全ての子どもや若者にとって居心地の良い場を創出し、活動等を通じた異世代交流によって、子どもたちが地域と繋がる交流の場を確保します。
- 子どもたちに豊かな感性と創造力を育み、これまでまちに根付いてきた文化から、本施設で新たに育まれる文化まで、市の文化を子どもたちに受け継いでいきます。

機能及び施設イメージ	子ども居場所機能 <ul style="list-style-type: none">・ 日常的な文化芸術活動ができる諸室、練習室・ 中高生が集える学習スペース など
取組事例	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもたちへのワークショップの開催・ 子どもたちが企画・実施できる事業の提供 など

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

(2) 施設の基本的な役割及び機能(案)

⑥子育て家庭をまちぐるみで支え、子ども若者にまちへの愛着を形成する

- 子育て家庭にとって保健センターが特別な支援の場ではなく、誰もが気軽に利用できる場となるために、母子保健機能を充実させ、子育て家庭向けの交流の場を確保します。
- 子どもや若者が日常的に異世代、子育て家庭と接する機会を通じて、子どもたちに前向きなライフデザインを想起させ、「まちへの愛着」を形成します。
- 子育て支援活動を担う大人たちが、子どもや若者世代とつながる場を確保します。

機能及び施設イメージ	子育て支援機能 <ul style="list-style-type: none">• 子育て交流スペース• 母子保健機能専用室• 子育て相談室 など• 開放型調理室• キッズルーム、キッズコーナー• 学習スペース
取組事例	<ul style="list-style-type: none">• 産後ママの交流活動の支援 など• 食育活動の推進• 子ども食堂の支援

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

(2) 施設の基本的な役割及び機能(案)

⑦健康づくりを推進し、市民の健康寿命の延伸を図る

- 市民一人ひとりがいきいきと健康に暮らせるよう健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関する事業を一体的に行う拠点として市民の健康寿命の延伸を推進します。

機能及び 施設 イメージ	健康増進機能 ・健診ホール、応接室 ・健康増進室 ・会議室 ・相談室 ・調理実習室 ・消毒室 ・倉庫 ・事務室 など
取組事例	・健康教育、保健指導の実施 ・健康診査、保健相談の実施 など

3-2. 基本理念について

■文化小ホール等の基本的な考え方

(2) 施設の基本的な役割及び機能(案)

⑧災害に強い施設づくりを目指す

- ・ 災害時に地域の防災拠点となるよう防災設備の充実を図り、災害に強い施設づくりを目指します。

機能及び施設イメージ	防災機能 <ul style="list-style-type: none">・ 避難所機能・ 非常用電源・ 非常用トイレ・ 炊き出し用設備・ 備蓄倉庫・ 耐震性貯水槽・ 自主防災組織等の会議や研修のため研修室 など
取組事例	<ul style="list-style-type: none">・ 自主防災組織研修等の実施・ 防災講演会等の実施・ 周辺住民のための避難所の開設、運営

3-2. 基本理念について

■文化小ホールの整備方針

(1) 施設機能の考え方(案)

施設機能	施設イメージ
交流・にぎわい創出機能	<ul style="list-style-type: none"> ・緩やかにつながることのできる共用スペース ・いつでもどこでも誰でも好きなことができる「日常」の延長にある空間 ・子どもからお年寄りまで、多世代が集い、活動できるフリースペース
魅力発信拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代の人々が、日常的な活動ができる諸室 ・他施設機能との機能連携・分担が可能な動線・配置 ・まちの魅力を発信・PRするコーナー
創造拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の発表の場から、プロによる興行公演まで、幅広い演目に対応可能な本格的なホール ・練習等、日常的な文化芸術活動ができる諸室
人材育成機能	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動のスペース ・専門家による相談窓口
子ども居場所機能	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な文化芸術活動ができる諸室、練習室 ・中高生が集える学習スペース
子育て支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て交流スペース ・母子保健機能専用室 ・子育て相談室 ・開放型調理室 ・キッズルーム、キッズコーナー ・学習スペース
健康増進機能	<ul style="list-style-type: none"> ・健診ホール、応接室 ・調理実習室 ・健康増進室 ・消毒室 ・会議室 ・倉庫 ・相談室 ・事務室
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所機能 ・非常用電源 ・非常用トイレ ・炊き出し用設備 ・備蓄倉庫 ・耐震性貯水槽 ・自主防災組織等の会議や研修のため研修室

3-2. 基本理念について

■文化小ホールの整備方針

(1) 施設機能の考え方(案)

- 文化小ホールは、市民の発表の場からプロによる興行利用まで、幅広い利用を想定し、音楽、演劇、ダンスまで幅広いジャンルに対応可能なホールとします。
- ホール機能の他、練習等、日常的な文化芸術活動ができるようなリハーサル室や練習室等の諸室を設置することを検討します。
- 現在市役所本庁舎において不足している会議室を補完するような、幅広い用途に対応可能な諸室も設置することを検討します。
- 子どもの居場所づくりにつながるスペース、子育て支援関連諸室、保健センター関連諸室等の諸室も設置することを検討します。
- なお、詳細な客席数、施設機能、規模およびその性能については、基本計画段階において検討することとします。